

## 日進市教育委員会臨時会（平成30年7月）会議録

### 1. 日時

平成30年7月18日（水曜日）13時30分から14時まで

### 2. 場所

日進市役所 南庁舎2階 第5会議室

### 3. 出席者

〔委員〕

吉橋一典（教育長）、森本直樹（教育長職務代理者）、鈴木卓也、成田ゆき江、藤井美樹、小林秀一の各委員

〔事務局〕

杉浦淳司（教育部長）、出原真路（教育部次長兼学校教育課長）、加藤誠（教育総務課長）、高田由紀（学校教育課主任指導主事）、蛭牟田弘樹（学校教育課指導主事）

〔書記〕

嶋崎典佳（教育総務課課長補佐）、石井智史（教育総務課係長）、志知慈子（教育総務課主任）

### 4. 欠席者

なし

### 5. 傍聴の可否及び有無

傍聴可、傍聴者4名

### 6. 会議録署名者

吉橋一典教育長、鈴木卓也、成田ゆき江の各委員

### 7. 議事の経過

（開会）

（議事）

議案第35号 平成31年度使用教科用図書の採択について

（閉会）

### 8. 次回会議日程

定例会

日時：平成30年8月1日（水曜日）14時から

場所：日進市役所4階 第3会議室

出席者：7月定例会に同じ

## 発言者及び発言内容

### 教育長

会議規則の定めるところにより議事を進めさせていただきます。ただ今より教育委員会7月臨時会を開会します。本日の会議録署名者は私ほか、鈴木委員、成田委員にお願いします。会議録調製者は、教育総務課志知とします。

本日の会議には4名傍聴の申し出がありますが、ご意見はございますか。

(全員異議なし) それでは傍聴者をお通しください。(傍聴者入室) 傍聴者の方には、傍聴のマナーをお守りいただきますようお願いいたします。

それでは、議案第35号「平成31年度使用教科用図書採択について」を学校教育課より説明をお願いします。

### 学校教育課主任指導主事

(資料に基づき説明)

### 教育長

はじめに、採択に関わる手続きについてご意見などがありましたらお願いします。

### 委員

尾張東部教科用図書採択地区協議会についてですが、構成員はどのような方となるのでしょうか。

### 学校教育課主任指導主事

教委議会委員は、愛日の各市町から教育委員会代表、校長代表、教諭代表の3名ずつです。そこに2名のPTA代表が加わり、総勢35名です。

研究員につきましては、中学校道徳は校長1名が研究部長、教諭8名が研究員として組織されています。

小学校各教科は、研究員を2名とし、部長に校長1名をあてています。小学校研究員につきましては、平成31年度使用小学校用教科書の採択にあたり、平成29年度検定において新たな図書の申請がなかったため、平成25年度検定合格図書の中から採択を行うことになり、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成26年度採択における調査研究の内容等を活用することも考えられるとの文部科学省通知によって研究員を2名としました。これらの人材は、愛日各市町から発行社と利害関係のない人材をバランスよく選出しています。

### 委員

採択にあたって、どのような観点で調査研究が行われたのでしょうか。

### 学校教育課主任指導主事

研究員は、共通の観点を持って調査研究にあたっています。具体的には、学習指導要領の趣旨を踏まえた内容か、愛知の教育の基本理念に即しているかどうか、児童の発達段階を考慮し、分量や内容が適切に選択されているかどうか、児童が深く考えることができ、多面的・多角的な見方や考え方ができるようになっているかどうか、装丁面で印刷の鮮やかさ、文字の大きさや色彩はよいか。丈夫であるかどうか等の点において研究を行いました。

## 教育長

他にご意見、ご質問はございませんか。（しばらく間があり）

それでは続いて私から7月10日に尾張旭市にて開催されました尾張東部教科用図書採択地区協議会（以下、「採択協議会」）について報告いたします。

この採択協議会においては、平成31年度使用教科用図書の採択について協議を行いました。

まず、小学校各教科の採択についてですが、平成29年度に検定がなかったことから、平成25年度から現在に至るまで同じ教科書を使用しており、今年度は本来ですと採択替えとなりますが、再来年度に新学習指導要領の全面実施が予定されていることから、来年度1年間のために採択替えを行う必要性はなく、また、すでに4年間の使用実績からも各教科問題がないと各研究部長からの報告もあり、小学校については「選定替え無し」と判断されました。

続きまして、中学校各教科の採択についてですが、道徳につきましては、採択協議会では、教育出版のものを選定することとなりました。また、道徳以外の各教科につきましては、平成30年度使用教科書と同一のものを採択することとなりました。

委員の皆様にはあらかじめ見本本をご覧いただいておりますので、これについて、まず、初めに小学校各教科の採択についてご意見をお願いします。

## 委員

十分に議論し、読み込んで採択したものですので、不都合も生じておりませんので特に異議はございません。

## 委員

来年度一年のために再度同じものを使用することに不都合がないとのことであれば特に問題はないものと思われれます。

## 教育長

それでは、小学校の平成31年度各教科書については「選定替え無し」とすることに賛成の方の挙手をお願いします。（全員賛成）それでは、小学校の各教科書については「選定替え無し」とします。

続いて、中学校の道徳についてご意見をお願いします。

## 委員

教育出版の教科書について言いますと、一方的に教えるということなく会話をしながら皆で考えていく、議論を通して自分の考えを構築していく学習の視点を大切にしている、という様に感じました。つまり、生徒の主体性を尊重していこうという教え方、覚えると言うより考える、考えさせると言う視点です。そういった中で社会と自分との関わり方、集団の中での自分を考える力を育てていこうとしている、個人の価値を正しく認識することができるようになっていっているように思います。ひとつの問題をひとつの側面から見ていくだけでなく、多様な視点から考えられるように進めていくというやり方がされていると思います。集団の中の個人の価値、自分の価値を見出せ

ることが出来るような成長を願っている構成だと思います。異なる立場からでもアプローチしていくことによって多様な視点から考える力を養うことが出来る、集団の中の個人の価値、自分の価値が見出せるような構成を心がけている様にも思いました。伝統文化や郷土を愛する心について言いますと、同時に他国を尊重するという心を養うことを大事にしている、国際平和を子どもたちが考えて読むことができる、という狙いが出来ているのではないかと思います。そういった上で、いじめや差別について個々が自分の問題として、自分がどうあるべきかということを考えられるような構成になっていると思います。表面的には写真、イラストが効果的に配置されていて、読みやすい構成になっていると思います。他の出版社のものも優れていますが、採択地区協議会が選定しました教育出版を採択することについては賛成いたします。

## 委員

私は小学校の道徳が光村図書出版となったことから、光村図書出版と教育出版のものを比べてみました。内容においては、どちらもとても良いものだと思います。教育出版については教科書のレイアウトに写真、イラストを使い、非常に紙面が明るく、光村図書出版については文字が小さく、紙面がなんとなく暗く明るさが少ない印象を受け、生徒にとっては読みづらさがあるのではないかと思います。教育出版については写真、イラストが上手い具合に配置され、読みながら視覚的なインパクトを感じて、読み進みやすい構成ではないかと思いました。

## 委員

私も教育出版の教科書を見させていただいた時に、開いた時の第一印象がとても見やすく、文字の大きさが適当であると感じました。中学校1年生の教科書は、少し文字も大きめで6年生とのつながりで見やすくしている点においては、大変好感を持ちました。教科書は、少しずつ文字も多くなり読む量も増えていって、中学生になると読むことが大変になる生徒が増えてくると思いますので、開いた時の第一印象がとても大事ではないかと思います。そういった点では、教育出版のものが優れているのではないかと感じました。他の教科書も、とても甲乙付けがたいもので、大変広い範囲において題材を取り上げているという印象を持ちました。題材についてはほとんど被ることなく、様々なものが取り上げられており、道徳に関する題材が大変豊富であるのだということに大変驚きましたし、よく考えて作られているものが多いと思いました。ドラッグ問題等、中学生にとっては身近ではないと思われる問題でも、近い将来、その先にそのようなものもあることを知ることにおいても、中学生のうちに知るという意味では、取り上げることがあっても良いのではないかと思います。また、自分の気持ちは一つしかないですし、道徳の教科書を読むことによって他の人はどう思っているのかということを知ることが、色々な人がいて、色々な国があることを知ること、とても大切な教科であると思いますので、授業をしていく上で、先生方も大変かと思いますが、保護者の方にも是非読んでいただける導きもしていただけたらと思いました。

## 委員

全体的に見まして、教育出版のものがバランスよくまとまっているのではと思いました。道徳なのでその中で取り上げられているものは、人権問題や地域、社会の問題や、先人の方々の生き方などを取り上げていました。道徳教育は非常に大事でありますし、道徳評価をどのように数値化していくのかを考えさせられました。

## 委員

私も8社の道徳教科書全てに目を通しました。内容的に見てみると甲乙つけがたく、どの出版社においても素晴らしいものでした。この中から1社に絞らなければなりません。どれも優れており甲乙づけがたいと思いました。どれも同じ基準の内容ですので、自分なりに考えた結果、大判のものは子どもたちにとっては使いづらく、別冊ノートがあるものについては扱いにくいのではないかという思いがありました。結果、東京書籍、光村図書出版、教育出版の3社に絞られました。どの教科書の出版社も小、中学校の繋がりを大事にしており、個人的には、小学校と同じ光村図書出版のものが採択されなかったのかが疑問ですが、もし、採択協議会でそのような話題が出ていたとしたら、教えていただきたいと思います。

## 教育長

採択協議会でのお話となりますが、小学校の道徳が光村図書出版、中学校が教育出版となりましたが、協議会部長からは統一するというよりそれぞれに優れた点があるためにこの選定となったという説明がありました。今、お話があったようにそれぞれ甲乙が付け難かったのではないかと思います。

他にご意見、ご質問はございませんか。（しばらく間があり）

それでは、中学校教科書について、道徳以外は「選定替え無」、道徳については教育出版を選定に賛成の方は挙手をお願いします。（全員賛成）それでは、小学校、中学校ともに全員賛成により、議案第35号を承認とします。

これをもちまして、教育委員会7月臨時会を閉会します。

次回、教育委員会8月定例会は、8月1日（水曜日）午後2時から、市役所4階第3会議室で開催予定です。